

活動事例から

# 青年部・女性部

## 「ロマンの里」に夢を求めて

—「縄文の宴」をぜひ一度ご賞味あれ！

### 山形県舟形町商工会女性部

地図帳を開くと、人の顔の形を思わせる東北地方の山形県。ここに私たちの舟形町がひっそりとたたずんでいます。県の北部山間に位置する東西に細長い町で、人口約六九〇〇人、商工会女性部員二八名という少人数で部会活動に取り組んでいます。

町には清流・小国川が流れ、日本三大急流の一つである最上川に流れ込む景色には、吸い込まれるようなものがあります。

小国川は川魚の「鮎」で有名であり、毎年七月一日の解禁日には全国から釣り名人・釣りファンが集まってきました。当町の鮎は「松原あゆ」といって、「川魚の女王」にふさわしい姿なのだそうです。

川原で炭火を焚き、釣ったばかりの鮎を焼いて食べるのは最高で、なんとも言葉に表現できない、その場所がないと手に入らないお土産の一つとなるのです。

お土産品といえば、特産品開発事業に取り組んだ時のことですが、以前から当町には特産品や土産品が少ないため、女性ならではの鮎料理を考案しようとして、女性部員みんなの力を結集した時期がありました。

その事業の成果として、焼いた鮎を昆布に巻いた「鮎の昆布巻き」と、焼いた鮎の中骨をとってほぐし、煮込み、蒸したもち米の中に入れた「鮎おこわ」をセットした《鮎づくし弁当》を完成させました。この《鮎づくし弁当》は、今年で十一回を迎える鮎祭り（九月開催）のイベント商品になっていて、皆さんが楽しみにしています。

また、平成四年には、当町の「西の前遺跡」から高さ四五cm、日本最大の土偶が発見されました。縄文時代中期のものともみられ、祭りや祈りなどの儀式に使われたようです。足が長く、胸やお尻が豊かでスマートな女性を連想させる土偶で、健康祈願や子孫繁栄など

の意味が込められていたのではないのでしょうか。

この土偶は、今では「縄文のヴィーナス」と呼ばれ、国の重要文化財に指定されて山形県立博物館に展示されています。

舟形町にしながら実物を見られないのがとても残念ですが、土偶にちなんだ商品もいくつか開発されました。その一つに、町の酒販店では、四五〇〇年前の縄文時代、歌や踊りを舞いながら宴が催されたであろうと思いを馳せ、純米吟醸「縄文の宴」を町内限定販売しました。

本年は、山形県を会場に「第一八回国民文化祭やまがた二〇〇三」が開催されます。当町は「縄文フェスティバル」と題して、シンポジウム、創作舞踊、土偶絵画彫刻などの展示を企画しています。

全国各地から考古学者や土偶マニアが集まることでしょう。





「縄文の宴」のラベルには、西の前遺跡で発掘された大型土偶「縄文のヴィーナス」をあしらった。

そこで、縄文フェスティバルにふさわしいお土産を女性部員で作ろうということになり、話し合いを重ねるうちに、町で生産されている黒米(古代米)に出会いました。普通の米にその黒米を少々入れて炊くと、赤飯のようなご飯になるのです。黒米を生産している農家の方によると、「黒米は食味・栄養ともに豊かで、縁起の良い米として食されてきたようです。増血作用があり、胃腸を丈夫にし、とりわけ妊産婦が喜んで食べていたのではないか」とのことでした。

そんなことから、この黒米でお酒ができないだろうかという話になりました。黒米を水に浸すと水が赤くなり、お酒を作ったらかきと古代を感じさせる神秘的な酒ができると確信しました。それならば、透明な赤い酒より、乳白色のどぶろく風にごりに赤い色を混ぜたら、赤紫の桃色っぽい酒になるだろうとイメージが湧いてきて、女性部員の中で大いに盛り上がり、夢が広がってきました。

さっそく、隣村の醸造酒造会社の社長にこの話を持ちかけたところ、製造を快く引き受けてくださり、今年の五月には、地元産の米(あきたこまち)と黒米を使用して作った桃色のごりが六〇〇本完成しました。さっぱりとした甘さがあり、女性にも評判で、



このお酒を飲めば縄文美人になれるかも。。「黒米(古代米)使用」さきにごり酒「縄文の宴」のデビューです。十月四日から三日間開催される「縄文フェスティバル」に向けたこれら当町のお土産品が今、話題になっているところです。

今後は、少ない女性部員ではありますが、ちよつとした事業で大きな喜びが得られることに目を向けながら、一歩一歩活動し、地域の人に愛着を感じてもらえる町にしていきたいと考えています。

十月の国民文化祭「縄文フェスティバル」に皆様のおいでをお待ち申し上げます。

## お知らせ 「愛の100円玉募金」活用

### ●「女性の創業等支援助成金」の事業先が決定

全女性連では7月24日、女性の創業等支援助成金審査会(委員長:黒瀬直宏 専修大学商学部教授)を開催し、平成15年度に全国から応募のあった22事業の中から10事業が選ばれた。

この制度は、平成13年度に実施した「全国組織化35周年統一記念事業」の1つ、「愛の100円玉募金」の一部を活用して、女性起業家の支援を目指す「女性の創業等支援助成金」を創設したもので、女性の創業や経営革新等を支援することにより、商工会地域及び商工会女性部の活性化を目指しており、平成14年度には10事業に対し助成を行った。

平成15年度も全女性連の継続事業として実施する。

### ●助成金先は次のとおり

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1. 北海道樺太華村商工会女性部  | 地域資源等活用企業化事業      |
| 2. 宮城県桃生町商工会女性部   | 環境にやさしい資源再利用事業    |
| 3. 東京都清瀬商工会女性部    | 街おこしときよせにんじんジャム事業 |
| 4. 三重県阿山町商工会女性部   | パン及び餅製品等製造業       |
| 5. 石川県辰口町商工会女性部   | 製造・販売業            |
| 6. 滋賀県安土町商工会女性部   | 製造業               |
| 7. 京都府宇治田原町商工会女性部 | 地域振興事業            |
| 8. 高知県野市町商工会女性部   | 介護用品販売業           |
| 9. 福岡県豊津町商工会女性部   | 食品製造業             |
| 10. 宮崎県荘内商工会女性部   | 食料品製造販売           |